

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（高齢分野）

支援の基本

特養 1-①、通所 1-①	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人理念でもある「豊かな生活を送ることを目指します」と掲げているように利用者一人ひとりの希望を把握し個別に散歩や園芸など多様に対応している。年2回の個別外出では職員や行ける家族と共に喫茶店や回転寿司、ドライブと利用者の希望に沿えるよう支援している。利用者の年齢と共に、重度化の利用者が増えているが、職員はその人の状態に合わせて、少しでも満足できる日々の過ごし方に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
訪問 1-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ、自立した生活が営めるよう支援している。	非該当
良い点／工夫されている点：	
改善できる点／改善方法：	
特養 1-②、通所 1-②、訪問 1-②	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>介護職員の接遇研修を行い、利用者を尊重したケアに取り組んでいる。意思表示の困難な方へは表情を読み取り、職員からの声掛けで少しでもコミュニケーションが図れる姿勢で対応している。月に一度のドッグセラピーの導入や、施設屋外で猫を飼うなど動物とふれあう機会を持ち、利用者とのコミュニケーションを豊かにしている。月2回の音楽療法は表情の表出ができるプログラムになっている。談話コーナーや食堂で利用者に話しかけたり、夜間帯でも利用者が話したい時</p>	

には話に耳を傾けている。

改善できる点／改善方法：

身体介護

特養 2-①、通所 2-①、訪問 2-①	第三者評価結果
入浴介助、清拭等を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	A
良い点／工夫されている点： 入浴時の着脱から整容まで、利用者一人ずつが完結するまでを入浴時間とし、利用者の心身の状況や意向に合わせて入浴方法を検討し支援を行っている。感染症や身体の状態により入浴の順番を配慮し、入浴を拒否する人の声掛けの工夫や時間をずらすなど本人のペースに合わせて対応をしている。ゆず湯やレモン湯などで入浴を楽しむ工夫もしている。一般浴、リフト浴、チェア浴と利用者の状態で選択できる環境にある。	
改善できる点／改善方法：	
特養 2-②、通所 2-②、訪問 2-②	第三者評価結果
排せつ介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	A
良い点／工夫されている点： 排泄委員会がテーマを決め、毎月話し合いが行われ、食後のトイレ誘導により排せつ改善につながった事例がある。便座前にレストテーブルを設置し、排泄時に使用することで前傾姿勢をつくり排便が促される工夫をしている。しかし、使い方によっては拘束に成りかねないので、意識づけが必要とされる。窓の換気や、ポータブルトイレの清掃後には消臭剤を使用するなど、臭いにも配慮し清潔を心掛けている。	
改善できる点／改善方法：	
特養 2-③、通所 2-③、訪問 2-③	第三者評価結果

移乗、移動を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者の福祉用具の点検は理学療法士が行っており、不具合が見つかった場合は迅速に対応している。ベッド移動はL字柵を使用し自力で移動できるよう支援をしている。</p> <p>移乗、移動に関しての助言や福祉用具についての情報提供が、常勤の理学療法士からあり、利用者の自立支援につなげている。適切な福祉用具の選択で、車椅子の利用者にあつた物が提供されている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養2-④、通所2-④、訪問2-④	第三者評価結果
褥瘡の発生予防を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>褥瘡対策指針を整備し、褥瘡予防・対策手順に沿い褥瘡の発生予防に努めている。毎月、褥瘡対策委員会を開催し、理学療法士が中心となり、画像記録システムを使用し発生の原因や経過観察、改善と適切な対応で、レベル3の褥瘡が2カ月でレベル2まで改善した事例がある。水分摂取量の確認や褥瘡予防マットレスとエアマット導入により積極的に褥瘡予防に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

食生活

特養3-①、通所3-①、訪問3-①	第三者評価結果
食事をおいしく食べられるよう工夫している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者アンケートやリクエストで利用者の希望を聞き、誕生日メニューなどに反映させている。日曜の朝食はパンかご飯を選択できる。また、年に数回おもてなしキッチンと称して利用者の目の前で寿司や天ぷらを調理して提供するなど、食事を楽しむ工夫をしている。食事の形態に配慮が必要な利用者には、ソフト食などユニバーサルデザインフードを利用し、味や形など美味しく食することができ食事の満足感を高めている。</p>	

改善できる点／改善方法：	
特養 3-②、通所 3-②、訪問 3-②	第三者評価結果
食事の提供、食事介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者の嚥下能力に合わせた食事が提供されている。誤嚥防止マニュアルは各ワーカー室に置き、誤嚥事例には事故防止委員会が検討し職員に周知している。突発的な発熱や歯痛等の状況に対しては、看護師、歯科衛生士、栄養士と専門職が連携を行い食事提供されている。月に一度、多職種専門職が集まり食事形態、摂取状況、介助方法等を意見交換している。個別の栄養状態や食事量をデータ分析し、安定した食事量や栄養改善に努めている。</p> <p>低床車椅子の利用者には既存の食卓台とは別に個別食卓テーブルを用意し、適切な高さの食事摂取に配慮している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養 3-③、通所 3-③、訪問 3-③	第三者評価結果
利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>常勤の歯科衛生士が、利用者一人ひとりの口腔内の状態を確認し、飲み込みや嚥下の指導を行い、職員に適切な口腔ケアを伝達している。昼食前に口腔体操を行い、口腔機能の保持と回復を図っている。口腔ケアマネジメント計画書を作成し個別ケアを実施している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

終末期の対応

特養 4-①、訪問 4-①	第三者評価結果
利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立している。	A

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>看取りに関するマニュアルを整備し、看取り介護についてテーマを決め、年2回研修を行っている。看取りの開始カンファレンスを開催し、職員対応の統一と家族の意向をつと確認し、密な連携を図っている。居室にソファを置き家族が利用者と過ごすことができる環境を整え、ゲストルームでの宿泊も提供している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>家族が看取りのプロセスを理解し、安心してその場に立ち合えるためにも、家族向けの看取りに関する冊子があると、家族との連携がよりスムーズに進み、グリーフケアにも活かされると思われる。</p>

認知症ケア

特養5-①、通所4-①、訪問5-①	第三者評価結果
認知症の状態に配慮したケアを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>認知症実務者研修修了者が職員研修の講師を担い、認知症ケアに関する勉強会を行っている。アセスメントにより、介護方法を検討しケアプランに反映し、残存機能の評価を行い、洗濯物の処理やゴミ捨ての手伝いなど利用者が活躍できる場面を作っている。身体拘束廃止に関する指針を整備し、隔月毎に身体拘束委員会を開催し、身体拘束や虐待に関する勉強会を行っている。職員が苦慮する認知症状の対応を分かり易いQ&A形式で対応事例集が作成され、現場での対応に活かしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養5-②、通所4-②、訪問5-②	第三者評価結果
認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎月、安全パトロールと称して、同法人内の他施設の職員が相互に施設環境を評価し、利用者</p>	

の安全な生活環境に努めている。薬品や洗剤等の危険物の保管や管理は鍵のかかる場所に置き留意している。

改善できる点／改善方法：

廊下的一部分であるが、隅に備品が置かれており、利用者の歩行スペース確保に支障をきたしている。全てのスペースにおいて整理整頓を励行し、利用者の安全な確保環境整備に期待したい。

機能訓練、介護予防

特養6-①、通所5-①、訪問6-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>機能訓練手順書を整備し、理学療法士の職員が中心となり、日々の体操やトイレまでの歩行、園内の長い廊下の途中に、仏像が安置されている一角があり、利用者が手を合わせに来る等生活リハビリを取り入れ利用者の身体機能維持向上に努めている。フロアで取組める簡単な体操を分かり易い絵で掲示し、体を動かす取組の1つとなっている。また、コミュニケーションロボットを導入し、体操や歌、踊りなどロボットと利用者がコミュニケーションをとることで、利用者の日常生活の活性化になっている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

健康管理、衛生管理

特養7-①、通所6-①、訪問7-①	第三者評価結果
日常の健康管理が適切に行われている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者の健康状態に関する情報は、朝の申し送りや介護記録システムで関係職員に周知されている。毎月往診があり、適切な健康管理が行われており、利用者の体調変化を見落とさず、変化</p>	

があればその都度家族に説明している。	
改善できる点/改善方法：	
特養 7-②、通所 6-②、訪問 7-②	第三者評価結果
必要な時には、迅速かつ適切な医療が受けられる体制が整備されている。	A
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>施設内看護・緊急時対応手順書を整備し、緊急時の連絡方法など迅速な体制が整っている。利用者の体調の変化に早く気づくため、日頃から職員間で利用者の情報を共有している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 7-③、通所 6-③、訪問 7-③	第三者評価結果
感染症や食中毒の発生予防を行っている。	A
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>インフルエンザ予防接種は利用者・職員共に全員接種し、費用は事業所負担で行われている。空気清浄機を導入し予防に努めている。手すり消毒は毎日行い、排泄介助時はガウンを、食事介助時はエプロンを着用し、日頃から予防に取り組んでいる。</p> <p>ジアイーブ洗浄、手洗い等日常的に衛生管理を行い予防に努めている。来訪者のために玄関先には消毒液やマスクを用意し、外からの侵入予防に努めている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

建物・設備

特養 8-①、通所 7-①	第三者評価結果
施設の建物・設備について、利用者の快適性に配慮している。	B
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>多床室はアコーディオンカーテンで仕切り、プライベートな空間に配慮している。食堂を兼ね</p>	

たフロアは広く、衝立で仕切ったり、テレビの位置に配慮し、利用者同士のトラブルを避ける工夫をしている。ブロックエリアの一つに畳スペースがあり、洗濯物をたたむ作業や昼寝で利用するなど、くつろげる場所になっている。

改善できる点／改善方法：

談話コーナーが複数あるが、場所によっては備品等が置かれ談話コーナーとして活用されていない所がある。備品を整理し、有効に活用できるよう期待したい。

家族との連携

特養 9-①、通所 8-①、訪問 8-①	第三者評価結果
利用者の家族との連携を適切に行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年1回実施する利用者・家族アンケートや家族の来所時に要望を聞いている。家族会は、腰痛予防や相続等の話も入れ、参加につながる工夫をしている。機関紙に夏祭りや行事の案内を掲載し参加を呼び掛けている。毎年、年末には家族の協力を得て、居室を始め施設内の大掃除を行い終了後の茶話会が恒例になっており、利用者、家族、職員の交流の機会となっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	